

大阪府における SDGsの取り組みについて



2022年11月25日
大阪府 政策企画部 企画室



目次



1. これまでの主な経過
2. OSAKA SDGs ビジョン
3. 大阪府の取り組み
4. *SDGs* と2025年大阪・関西万博

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



目次



- 1. これまでの主な経過**
2. OSAKA SDGs ビジョン
3. 大阪府の取り組み
4. *SDGs* と2025年大阪・関西万博

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

1. これまでの主な経過

大阪府の取組み	国の動き	関連項目
<p>2018年4月 大阪府SDGs推進本部設置</p> <p>2020年3月 Osaka SDGs ビジョン策定</p> <p>2020年7月 SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業に採択 (大阪市と共同提案)</p> <p>2020年12月 大阪SDGsネットワーク設置</p> <p>2021年1月 大阪SDGs行動憲章策定</p> <p>2021年2月～ 私のSDGs宣言プロジェクト開始</p>	<p>2016年5月 SDGs推進本部設置</p> <p>2016年12月 SDGs実施指針策定</p> <p>2018年6月～ SDGs未来都市及び自治体・ SDGsモデル事業の選定開始</p> <p>2018年6月 Japan SDGs Action Platform 設置</p> <p>2019年12月 SDGs実施指針改定</p>	<p>2015年9月 国連総会にてSDGsを採択</p> <p>2018年11月 大阪・関西万博開催決定</p>



目次



1. これまでの主な経過
- 2. OSAKA SDGs ビジョン**
3. 大阪府の取り組み
4. *SDGs* と2025年大阪・関西万博

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

2. OSAKA SDGs ビジョン①

OSAKA SDGs ビジョン策定の意義

「Osaka SDGs ビジョン」は、2025年大阪・関西万博の開催都市として、世界の先頭に立ってSDGsの達成に貢献する「SDGs先進都市」を実現するため、大阪がめざすSDGs先進都市の姿を明確にし、府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーと共有することで、オール大阪でSDGsの新たな取組みの創出を図っていくことを目的に策定（2020年3月策定）

大阪府の役割

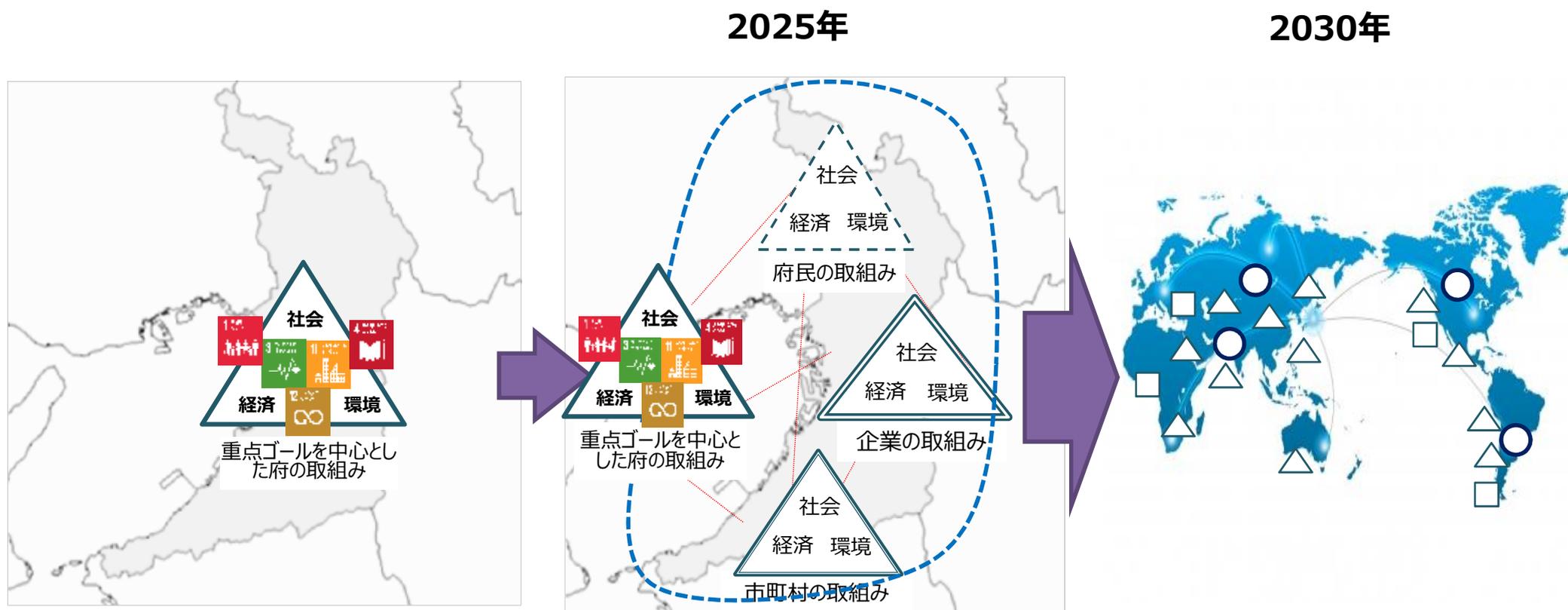
- ① 府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーに**SDGsを広く知っていただく**
⇒ SDGsの**更なる浸透**を図り、これまでにSDGsになじみのなかった**新たなステークホルダーの掘り起こし**や具体的な行動につなげる
- ② 様々なステークホルダーの取組みをSDGs実現に向けて**相互につなぎ合わせていく**
⇒ **関西SDGsプラットフォーム**や**国関連機関、経済界、金融機関**などと連携し、それぞれのネットワークを活かしながら、ステークホルダー間の**マッチング**と**新たな取組みの創出**を図る
- ③ **府自らも**ステークホルダーの一員として、**SDGsに貢献**する
⇒ 庁内各部署の**主体的な取組みの更なる充実・強化**を図り、SDGsとして取り組むからこそできる施策を幅広く展開していく
- ④ ハード・ソフト両面から**「SDGsを具現化した都市づくり」を進める**
⇒ 大阪の持続的成長や、府民の豊かさ、安全・安心の実現に向け、SDGsの理念に沿った**社会システムや価値観の変革**を進める

2. OSAKA SDGs ビジョン②

SDGs先進都市をめざして

SDGs先進都市 = 誰もがSDGsを意識し、一人ひとりが自律的に17のSDGs全ての達成をめざしていくこと

→様々なステークホルダーが連携・協調し、「大阪」がSDGsを体現したまちを発信していく

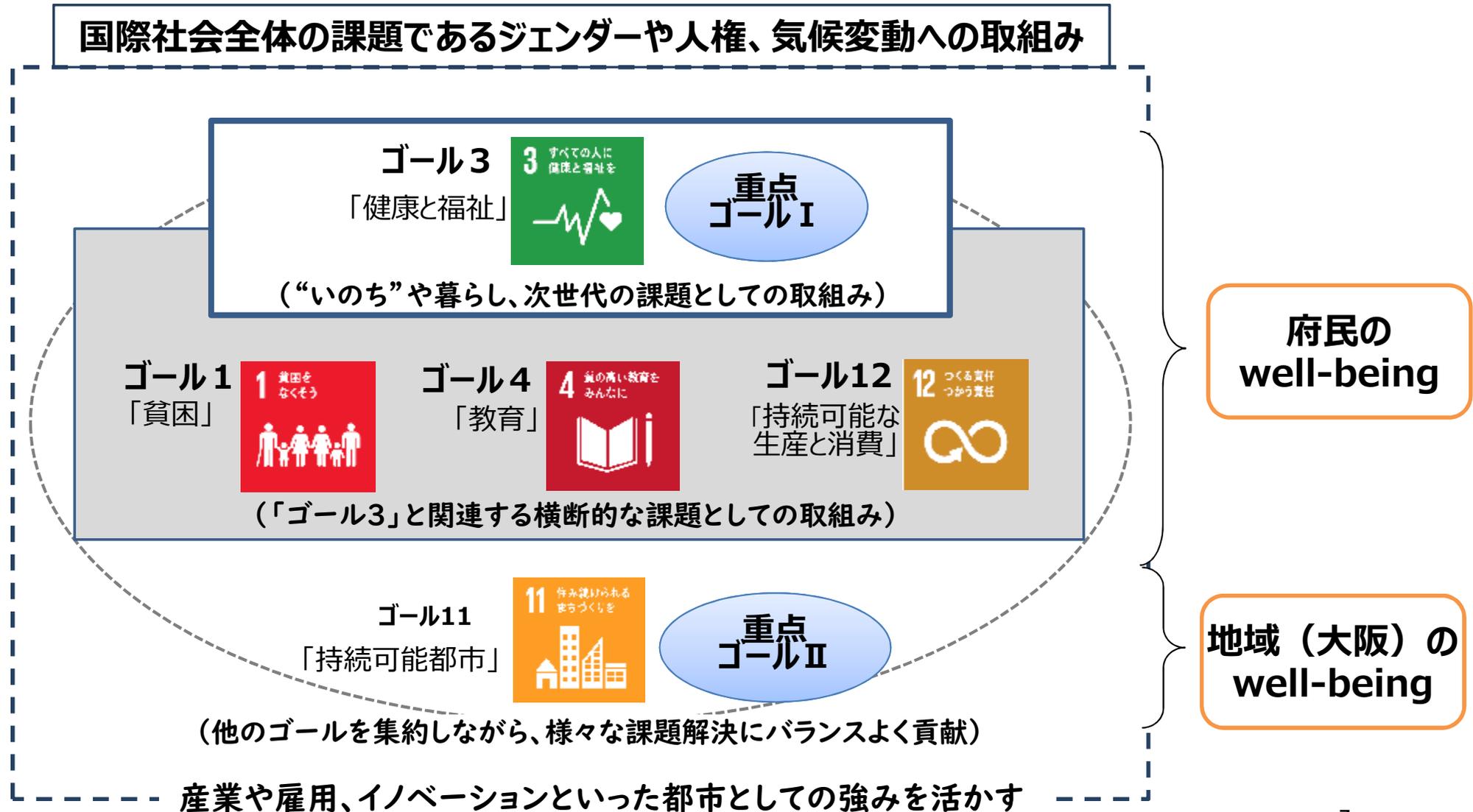


万博において、大阪のあらゆるステークホルダーが、会場の内外でSDGsを体現し、行動する姿を世界に発信

日本全体や世界とのつながりの中で、先頭に立って、世界とともにSDGsを達成する

2. OSAKA SDGs ビジョン③

◆2025年大阪・関西万博に向けて取り組む「重点ゴール」



2. OSAKA SDGs ビジョン④

第3回「ジャパンSDGsアワード」SDGs推進副本部長の受賞

- 「Osaka SDGs ビジョン」の策定にあたり、大阪府の現状把握に向け確立した「自己分析モデル」が他の自治体にとっても汎用性がある点が評価され、令和元年12月 第3回「ジャパンSDGsアワード」SDGs推進副本部長（内閣官房長賞）を受賞。

【ジャパンSDGsアワード】

SDGs達成に資する優れた取組を行っている企業・団体等を、SDGs推進本部として表彰するもので、NGO・NPO、有識者、民間セクター、国際機関等の広範な関係者が集まるSDGs推進円卓会議構成員から成る選考委員会の意見を踏まえて決定されます。

2. OSAKA SDGs ビジョン④

ゴール 11: 持続可能都市

包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

Goal 11

Make cities and human settlements inclusive, safe, resilient and sustainable

	ターゲット
11.1	2030年までに、すべての人々の、適切、 安全かつ安価な住宅 及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。
11.2	2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。
11.3	2030年までに、 包摂的かつ持続可能な都市化を促進し 、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。
11.4	世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。
11.5	2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、 水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し 、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。
11.6	2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。
11.7	2030年までに、女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。
11.a	各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における 都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援 する。
11.b	2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの 総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う 。
11.c	財政的及び技術的な支援などを通じて、後発開発途上国における現地の資材を用いた、持続可能かつ強靱（レジリエント）な建造物の整備を支援する。

ゴール12: 持続可能な生産と消費

持続可能な生産消費形態を確保する

Goal 12

Ensure sustainable consumption and production patterns

	ターゲット
12.1	開発途上国の開発状況や能力を勘案しつつ、持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組み（10YFP）を実施し、先進国主導の下、すべての国々が対策を講じる。
12.2	2030年までに 天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用 を達成する。
12.3	2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの 食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少 させる。
12.4	2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や すべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化 するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
12.5	2030年までに、 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減 する。
12.6	特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。
12.7	国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達を促進する。
12.8	2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
12.a	開発途上国に対し、より持続可能な消費・生産形態の促進のための科学的・技術的能力の強化を支援する。
12.b	雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。
12.c	開発途上国の特別なニーズや状況を十分考慮し、貧困層やコミュニティを保護する形で開発に関する悪影響を最小限に留めつつ、税制改正や、有害な補助金が存在する場合はその環境への影響を考慮してその段階的廃止などを通じ、各国の状況に応じて、市場のひずみを除去することで、浪費的な消費を奨励する、化石燃料に対する非効率な補助金を合理化する。

出展: 持続可能な開発のための2030アジェンダ



目次



1. これまでの主な経過
2. OSAKA SDGs ビジョン
- 3. 大阪府の取り組み**
4. *SDGs* と2025年大阪・関西万博

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

3. 大阪府の取り組み①

OSDGs 未来都市及び自治体モデル事業

タイトル

2025年大阪・関西万博をインパクトとした「SDGs先進都市」の実現に向けて

SDGs未来都市 計画概要

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる大阪・関西万博の開催都市として、行政だけでなく、府民や企業、市町村、金融機関、経済界などあらゆるステークホルダーとの連携を広げつつ、2030年のあるべき姿に向け、一人ひとりがSDGsを意識し自律的に行動する「SDGs先進都市」の実現をめざす。

3. 大阪府の取り組み②

○自治体SDGsモデル事業

三側面をつなぐ統合的取組 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業

- ①「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の取りまとめと推進体制の構築
- ②「地域・事業者の連携による新たなペットボトル回収・リサイクルシステム」の確立
- ③モデル事業をはじめとするSDGsの取組みに関する情報発信と国際協力の推進

①経済面の取組

- ・海洋プラスチック問題等の解決に向けた環境先進技術シーズ調査普及啓発事業
- ・バイオプラスチックビジネス等推進事業
- ・国連環境計画国際環境技術センター（UNEP-IETC）との連携事業
- ・水・環境技術の海外プロモーション事業



地域事業者の成長のサイクル

②社会面の取組

- ・マイボトル・マイバッグの普及促進
- ・公共空間における給水スポット設置事業
- ・大阪湾の環境改善、環境意識向上
- ・資源集団回収活動によるコミュニティビジネスの振興 など

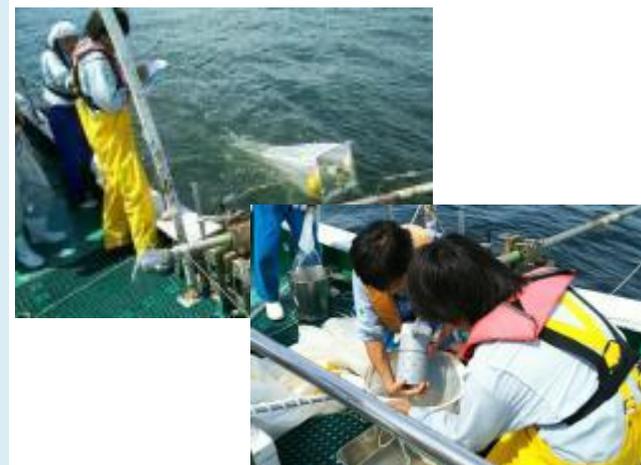
マイバッグ協定



給水機の設置

③環境面の取組

- ・海洋プラスチック問題等の解決に向けた環境先進技術シーズ調査普及啓発事業
- ・大阪湾の海ごみの回収事業
- ・ごみの減量と3Rの啓発推進事業 など

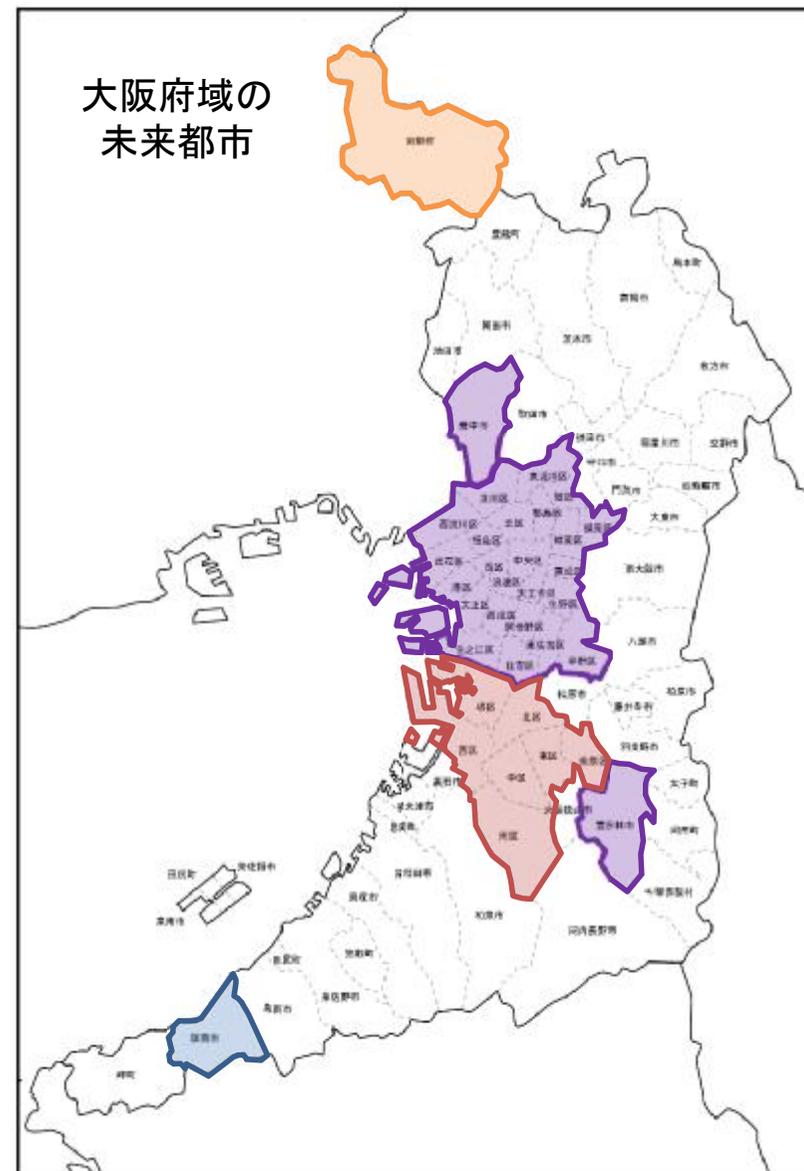


大阪湾のマイクロプラスチック調査の様子

3. 大阪府の取り組み④

○大阪府内のSDGs 未来都市選定状況

年度	選定状況
2018年度	堺市
2020年度	大阪府・大阪市(共同)
	豊中市
	富田林市
2021年度	能勢町
2022年度	阪南市



3. 大阪府の取り組み⑤

○大阪SDGs行動憲章の策定（令和3年1月）

わたしたちは、「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」をめざす“持続可能な開発のための2030アジェンダ”（SDGs）の理念に賛同し、2025年大阪・関西万博の地元都市として、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて、SDGsの17ゴールの達成をめざします。

- ① かけがえのない“いのち”を大切に、地域社会や環境に配慮して行動します。
- ② 2030年に住みたい魅力あふれる大阪をイメージし、できることから意識して行動します。
- ③ 人と人との出会い、つながりを大事にし、互いに学びあい協力して行動します。



3. 大阪府の取り組み⑥

○私のSDGs宣言プロジェクトの開始（令和3年2月）

府民や府内企業・団体などあらゆるステークホルダーにSDGsを知ってもらい、具体的な行動につなげるために策定した「大阪SDGs行動憲章」の趣旨に沿って、自らが行うSDGsの達成に向けた行動を宣言するプロジェクトです。

対象

府民、府内の企業・団体など

宣言内容

SDGsの達成に向けた取り組み、関連するゴール

参加方法

大阪府ホームページ、大阪府SDGs【公式】Twitter

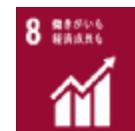
取り組み宣言の例



冷蔵庫の中を把握して、必要な分だけ買い足す



エコバッグやマイボトル、マイ容器を使う



誰もが働きやすい職場環境を作る



3. 大阪府の取り組み⑦

○ステークホルダー間のマッチングについて

大阪商工会議所と連携し、カーボンニュートラルをテーマに、府内市町村と中小企業のマッチングイベントを実施。
テーマに沿って市町村が抱える課題解決を図っていただくため、はじめに市町村に課題を発表（プレゼン）いただき、その課題解決に向け、ノウハウやアイデアを提供が可能な企業に手を挙げていただく方式で実施。

【マッチングに向けたイメージ】



イベント後も必要に応じ大阪府が市町村と企業のマッチングを支援

大阪商工会議所 大阪府
 一歩はるサブライマーへ、発めのグリーン戦略
グリーンテック マッチング会
 ～企業が、我が社の技術がカーボンニュートラルに貢献する～
 日時：2022年9月4日（日） 14:00～16:00
 会場：大阪府立国際会議場（大阪府立国際会議場）
 参加費：無料
 対象：カーボンニュートラル技術に関する企業、カーボンニュートラルに関する企業
 主催：大阪府、大阪商工会議所、大阪府立国際会議場
 協賛：133事業者
 詳細情報：大阪府立国際会議場（大阪府立国際会議場）
 申し込み：大阪府立国際会議場（大阪府立国際会議場）
 お問い合わせ：大阪府立国際会議場（大阪府立国際会議場）





目次



1. これまでの主な経過
2. OSAKA SDGs ビジョン
3. 大阪府の取り組み
4. ***SDGs*** と2025年大阪・関西万博

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT  GOALS

4. SDGs と2025年大阪・関西万博①

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

◆**テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン**

“Designing Future Society for Our Lives”

◆**開催期間**：2025年4/13～10/13(184日間)

◆**開催場所**：夢洲（大阪市臨海部）

◆**入場者（想定）**：約2,800万人

◆**経済効果**：約2兆円



4. SDGs と2025年大阪・関西万博②

万博会場のイメージ



4. SDGs と2025年大阪・関西万博③

SDGs

将来像

SDGsが達成された社会

理念

- ◆ **誰一人取り残さない**
- ◆ **将来世代のニーズを損なうことなく、今の世代のニーズを満たす**

達成ポイント

先端技術を活用した社会課題の解決

特徴

持続可能な社会の実現に向け、世界の大胆な変革が必要となることを、全ての国連加盟国が採択
(人類の英知の結集)

目標年限

2030年

大阪・関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

Saving Lives (いのちを**救う**)
Empowering Lives (いのちに**力を与える**)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト

People's Living Lab (未来社会の実験場)

特徴

地球規模のさまざまな課題に取り組むために、
世界各地から英知を集める場

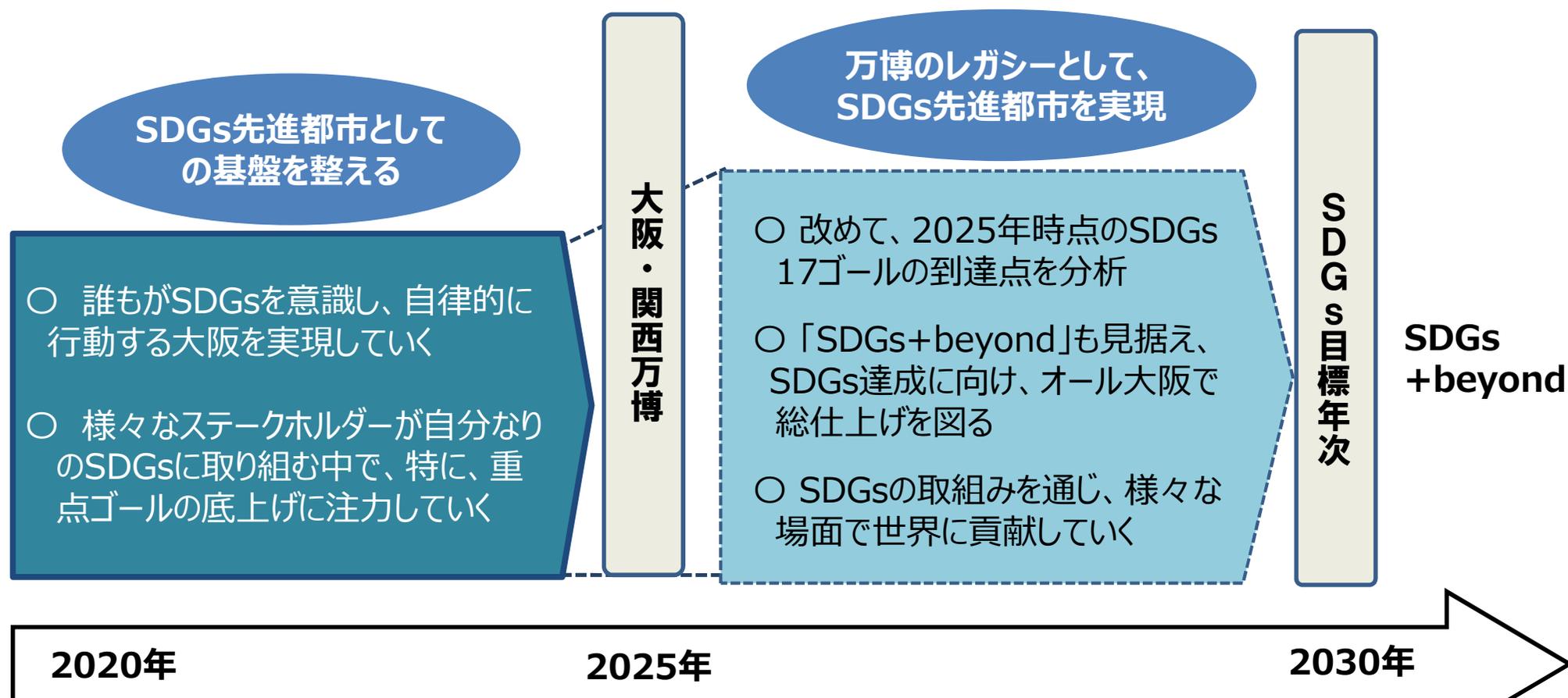
開催時期

2025年

4. SDGs と2025年大阪・関西万博④

取り組み工程

- 万博に向け、「SDGs先進都市」としての基盤を整え、2030年のSDGs目標年次に向けた総仕上げを図る中で、万博のレガシーとして「SDGs先進都市」を実現する。



ご清聴ありがとうございました。

大阪府 SDGs



⇒ HP「大阪府／大阪府におけるSDGsの取組み」

【お問い合わせ先】

大阪府 政策企画部 企画室 推進課

TEL:06-6944-6205

Mail:osaka_SDGs@gbox.pref.osaka.lg.jp

